

# 民主党名古屋市議団議会改革調査検討会

## 論点整理

これまでの4回、計8時間の議論で委員から提議された課題について、「論点整理」として取りまとめいたしました。今後の議会運営・議会活動等にご活用いただければ幸いです。

総論としては、議会・議員に対する評価は高く、活動内容に対しての満足度も低くはないですが、同時に期待することも大きいです。それらは大きく3点に分かれます。

ひとつは、**議会活動の広報**です。議会・議員の活動の“見える化”が必要です。議会活動を市民に報告する手法や媒体は、広報誌、議事録公開、会議のネット中継、ホームページ、議会報告会など既に多様にありますが、そこで提供されている情報は基本的に同じもので、結果として総花的になっている印象を受けます。その結果、多くの市民は提供されている情報に物足りなさを感じ、議会・議員の存在感を強く意識することが難しいと考えられます。市民が属する地域や階層、関心事項に合致した情報に加工し、適した媒体で発信することが求められます。多様な市民のアンテナに届く情報に編集する作業が必要となります。これは**きめ細かい、地道な作業**です。しかし、この作業を議会が組織をあげて取り組むことが市民と議会の関係を強化し、健全な自治体運営に寄与することになります。

情報発信の重要性を再認識し新たな取り組みに着手する一方、市民からの情報を受け取ることも重要です。議会主催の議会報告会だけでなく、議員や会派が主催する議会報告会や意見交換会の開催を検討されてはいかがでしょうか。そこでは、議員個人や会派の議会活動を報告するだけでなく、市民から日常生活で抱える問題や不安を率直に話していただき、その後の政策立案に活用することを目的とします。そこで最も重要なことは、公開の場で不特定多数の市民が参加できる環境をつくることです。ひとつのアイデアとしては、他の会派に属している議会の役職議員（正副議長・議運委員長・当日の主なテーマを所管している委員長等）の参加や開催場所の地域会等の協力を得ることで、より公的な意味合いを持たせることです。

市民の議会への参加を強化するという明確な方針とそれを実施する具体的な取り組みを示せば、それにかかる費用負担について良識ある市民は理解を示すと思います。

## 民主党名古屋市議団議会改革調査検討会

次は、自治体の運営者としての責務です。議会には、これまで以上に市民と向き合い、市民の意見を吸い上げる努力をして欲しいと期待しています。ただ、市民の声に耳を傾けることは、盲目的、無批判に市民の意見に従うことを意味していません。自治体運営者として様々な視点から考え、議論し、決断することを期待しています。そして、市民が何より求めていることは、結果とそれに至る経過を分かりやすく説明してくれることです。それが議会の自治体の運営者としての責務です。市民に迎合すること（ポピュリズム）なく、長期的、多角的な視点を踏まえた自治体運営に挑んでほしいと考えています。

自治体運営には、当然お金が必要となります。市の財政状況や経済情勢にも細心の注意を払い、健全な財政運営にこれまで以上に取り組んでいただきたいと思います。考えます。“地域主権”＝地域のことは地域で決めて実行する一時代において、財政運営の成否は市民生活を直撃します。議会は専門的な政策・制度について提言や条例化にむけて活発な活動を行うためには、財政についての見識が不可欠です。財政の基礎知識（制度と金額）について超党派で勉強会を定期的で開催するなど、自治体の運営者として共通の認識をもつ取り組みが必要です。その後、歳入や歳出の分析を議会独自で実施することなども可能となると想像します。市民は、主体的、能動的に自治体の運営に携わる議会を求めています。

最後は、自治の本質に迫る議会改革に期待しています。議員報酬や政務調査費、議員定数などについて、厳しい批判がマスコミや市民から寄せられ、多くの議員の内心は不本意なことと想像します。実は多くの市民にとっても、このような議員の身分や処遇について、市全体で長期間、最優先課題として議論することに抵抗が少なくありません。本来の議会改革とは、市民の生活に密着した諸課題の解決にあたり障害となっている条例や議会の慣例や慣習を見直すことです。最終的な目的はあくまでも市民の福祉向上です。そのために議会の運営上の障害を取り除くことが議会改革です。例えば、従来の方法では、市民の意見が適切に議会の議論や審議に反映されていないとすると、新たな仕組みを構築することが改革です。

今回の一連の議員報酬や政務調査費、議員定数に関する改革では、どのように市民の福祉向上が図れるのかわかりません。市長の政治的な思惑から発した問題なのかもしれませんが、そのような政争に市民を巻き込むことは、市全体にとっても不幸です。議会には代替案を提示するだけでなく、速やかに市民が政策的成果を実感できる議会改革に取り組むことを期待しています。

名古屋市の活発な議会活動を見て、多くの市民は、市民としての責任を再認識するでしょう。市民を信頼し、意識改革に励んでください。